

## Welcome&Help マーク プロジェクト

～「誰ひとり取り残されない社会」を目指して～

仙台白百合女子大学 志水ゼミ

### 目的

- ・ヘルプマーク保持者への支援方法の提示
- ・ヘルプマークが有効に機能することを目指す

### 活動実績

- ① 泉中央駅南北改札への外部調査  
2024年7月実施
- ② 泉区役所への外部調査  
2024年7月実施
- ③ シールデザイン試作 2024年10月～実施
- ④ ヘルプマークの認知度調査（本学内）  
2024年12月実施
- ⑤ 地域生活支援オレンジねっと南光台での普及啓発活動  
2024年12月～実施



### 今後の活動目標

普及啓発カード作成  
支援方法を広報する  
⇒ 小中学校や地域に配布予定  
ポスター掲示

私たち自身がヘルプマークの意味を理解したうえで普及啓発を続けていき、支援したい人が意思表示することで、ヘルプマーク保持者に必要なサポートをできる市民増加を目指して、活動を展開していく

### 活動の成果・効果

- ① ヘルプマークの意味を理解し、支援できる市民の増加
- ② ヘルプマーク保持者がどんな支援が必要かを明示すること
- ③ 手助けをする側もどんな支援を求められているかが理解できる



- ・本学1,2年生（58名）を対象とした「アンケート調査」⇒ヘルプマークを知っている人の割合が85%、対象者を支援したいと考えている人が88%、シールを使用したい人が86%の結果、一方でシールのデザイン案の再考の意見もあった
- ・「地域生活支援オレンジねっと南光台での普及啓発活動」



ヘルプマーク保持者：迷惑をかけたくないため普段は使用していない  
手助けする側：手助けの具体的な方法がわからない、迷惑にならないか不安  
⇒このことから、ヘルプマーク保持者と手助けしたい人の双方が意思表示することが必要